

# 2016年の回顧と2017年の展望

『景気回復に向けて、いま為すべきことは？』

ブラジル日本商工会議所 食品部会

2017年2月23日(木)

# 目次

- ◆ 2016年業界動向
- ◆ 原材料動向
- ◆ 2017年の展望

# 2016年の業界動向

## ◆ 国内市場概況

- 約2年間続いた経済情勢の悪化に底入れ感が出てきている。6月以降のスーパーマーケットの売上高前年比(実質)は7ヵ月連続で前年を上回った。
- 食品・飲料・日用雑貨は、重量前年割れが継続。売上高前年比(実質)も前年割れだが、半年前から0.3%回復し、前年比-3.7%と良化の兆し有り。
- 製品カテゴリー別の購買データから、低価格指向及び、嗜好品への支出を抑制する傾向が継続していることが推察される。

# 2016年の業界動向

## <飲料>

- ・発酵乳飲料 食品部会所属企業では前年比金額ベース102%、数量ベース5%弱減。
- ・粉末飲料市場 103%(金額ベース前年比)

## <粉末調味料>

- ・粉末調味料市場 97%(金額ベース前年比)  
食品部会所属企業では前年比金額ベース111%

## <スープ>

- ・粉末スープ市場 89%(金額ベース前年比)  
食品部会所属企業では前年比金額ベース112%

# 2016年の業界動向

## <しょうゆ>

- ・輸入による、現地メーカーとの販売価格差により厳しい状況が続く。日本食材のプロモーション活動通じ、需要発掘取組継続。

## <清酒>

- ・食品部会所属企業では、金額ベースで前年対比一桁の中盤程の伸長、数量ベースで前年並み。

# 2016年の業界動向

## <コーヒー>

- ・引き続き低迷する経済状況に対し、原料価格高騰による製品価格上昇を理由に国内消費は伸び悩み。
- ・インスタントコーヒーは需要、市場も伸長。

## <即席めん>

- ・対前年金額ベースでは横ばいもしくは微増、数量ベースでは微減。

# 2016年の業界動向

## ＜畜肉・畜肉加工品＞

- ・日本在庫過多により、ブラジル産鶏肉の日本への輸出数量対前年大幅減。
- ・日本向け牛肉加熱加工品は、施設認定を経て2016年12月より輸出が可能となる。
- ・食品部会所属企業では加工食品の生産開始、B to B中心に販売。

# 2016年の業界動向

## <チョコレート>

- ・2015年数量ベースで減少に転じた市場は、2016年減少傾向に歯止め掛かるも、前年比横ばいで推移。金額ベースでは値上げもあり横ばいから微増。
- ・一方、業務用市場への影響度は小さく、食品部会所属企業も数量ベースで微増、金額ベースで二桁の伸び。



# 2016年の業界動向

## <香料>

- ・食品部会所属企業では、主力の菓子・飲料向けが低調も新規開拓で補い、全体として昨年並みの予定。

## <食品添加剤>

- ・食品部会所属企業では、新規顧客開拓あるも、既存取引低調により全体として売上は横ばい。

# 2016年の業界動向

## <アセロラ製品>

- ・主要産地での干ばつにより、原料供給が少ない状態が続く。
- ・緑果製品(ビタミンC多く含む)の販売比が増加。

## <種苗>

- ・世界的なM&Aによる市場のモノポリー化進む。
- ・ブラジル種子業界では種子需要は安定も、天候不順による影響で販売は減少傾向。

# 2016年の業界動向

## <外食産業>

- ・外食市場伸長率は9%、2年連続で二桁に至らず。
- ・高級店中心に客数、売上減の一方で、価格的にお手頃感ある業態は伸長。

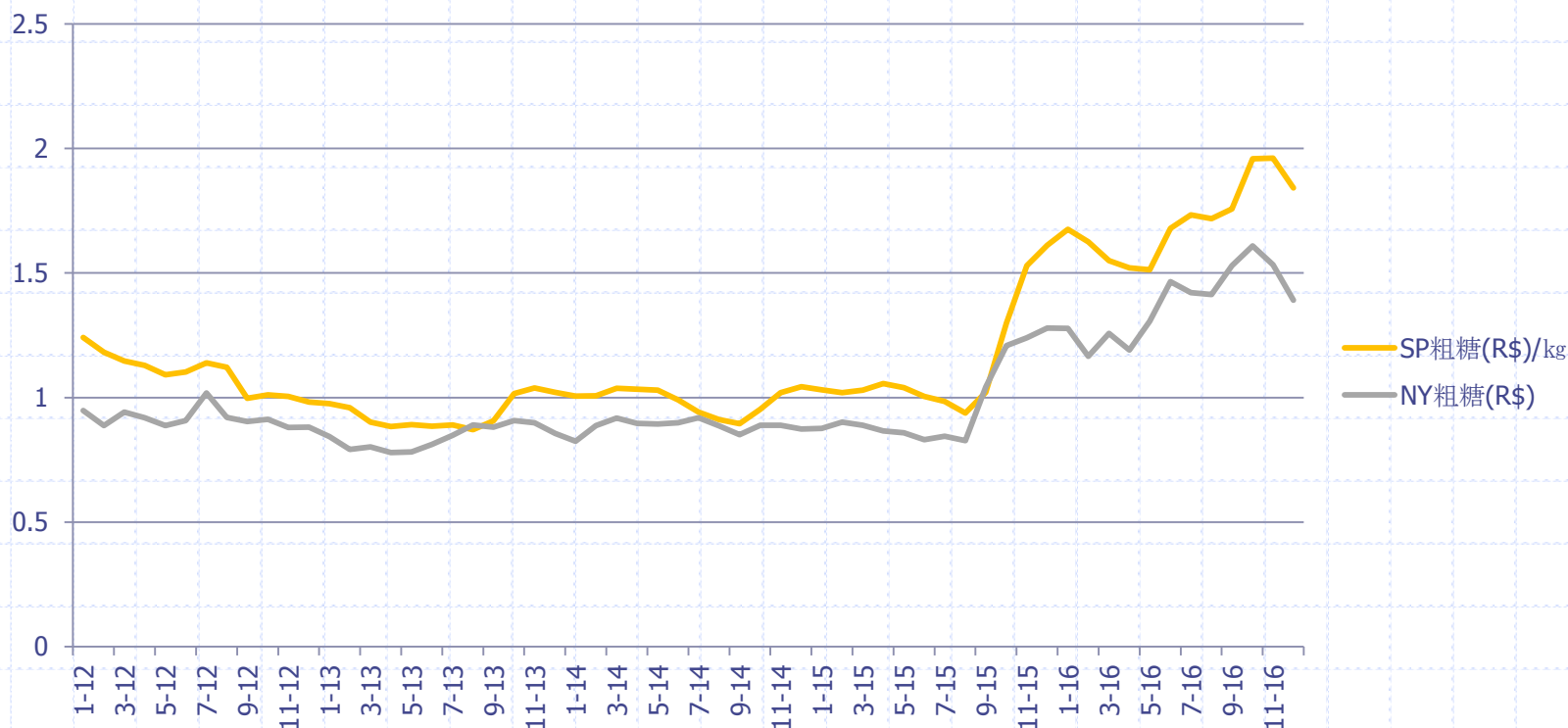
## <輸出>

- ・飲料原料は、コーヒー、オレンジ果汁共に天候影響による供給減でタイトな状況。
- ・鶏肉原料は、日本在庫過多により価格低迷。

# 原料動向

## 砂糖相場の推移(2012～)

粗糖キロあたりリアル単価

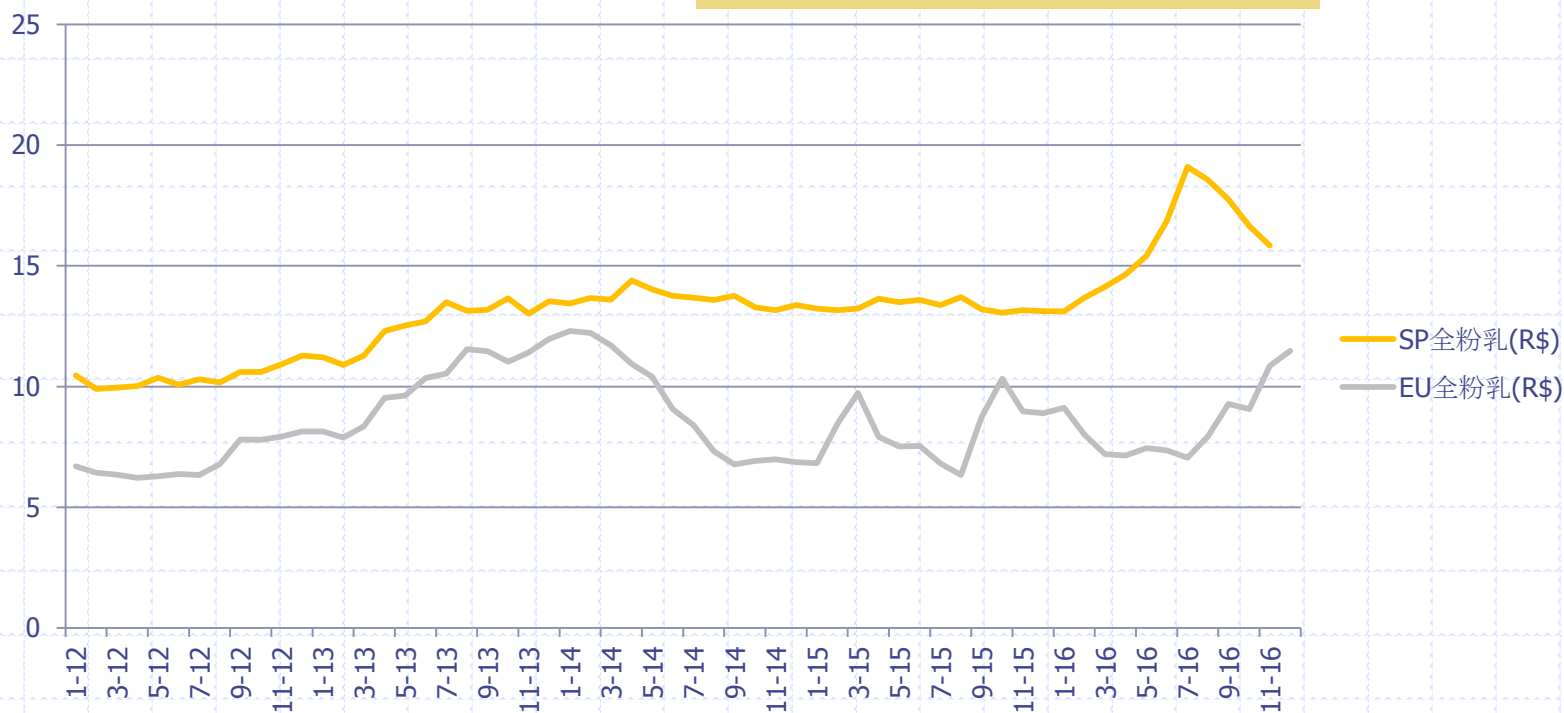


◆2012年以降、サトウキビの生産が安定し相場は落ち着いていたが、2015年後半からの異常気象(ブラジルでの2016年前半の異常降雨もその一つ)による収穫減懸念から高騰、加えてリアル通貨安で国内相場がさらに突出した。

# 原料動向

## 乳相場の推移(2012～)

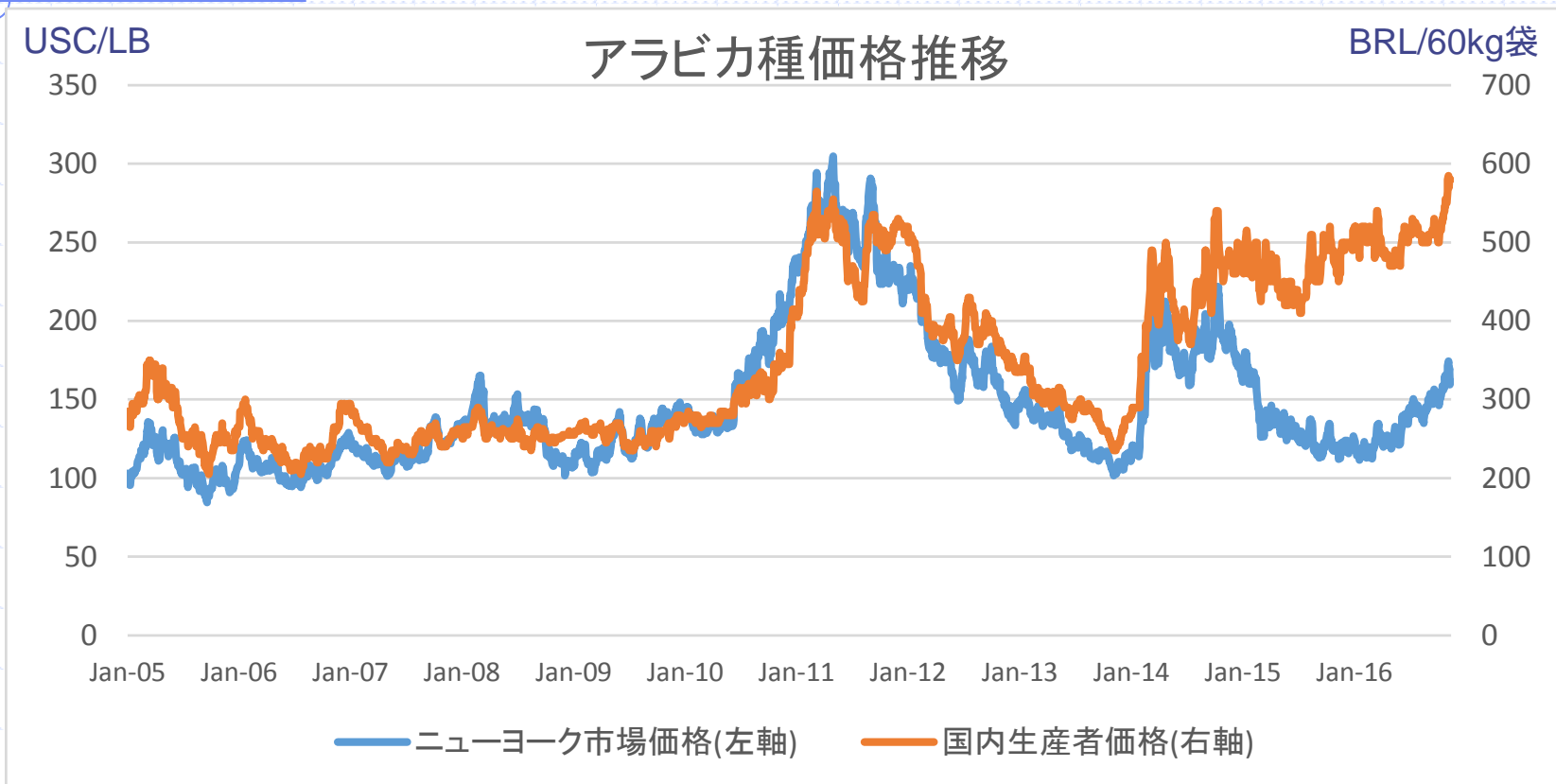
全粉乳キロあたりリアル単価



◆乳製品価格は2014年以降国際的に大きく下落したが、国内相場は高値を維持。2016年は生乳価格の上昇で国内相場が高騰した。2016年後半以降国際価格が徐々に上がっており、リアル安相場の影響下でリアル建て価格が上昇している。

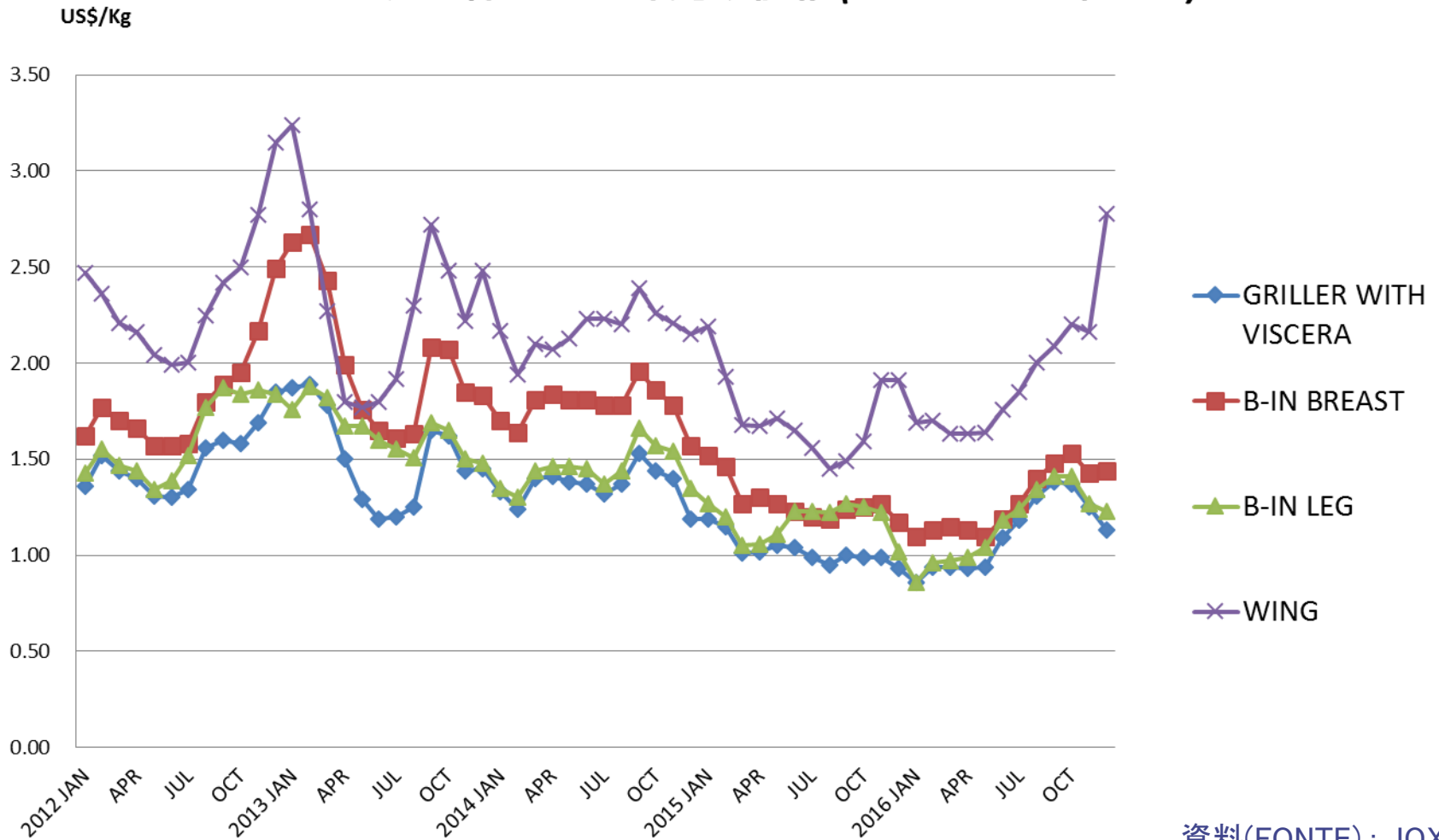
# 原料動向

## コーヒー相場の推移



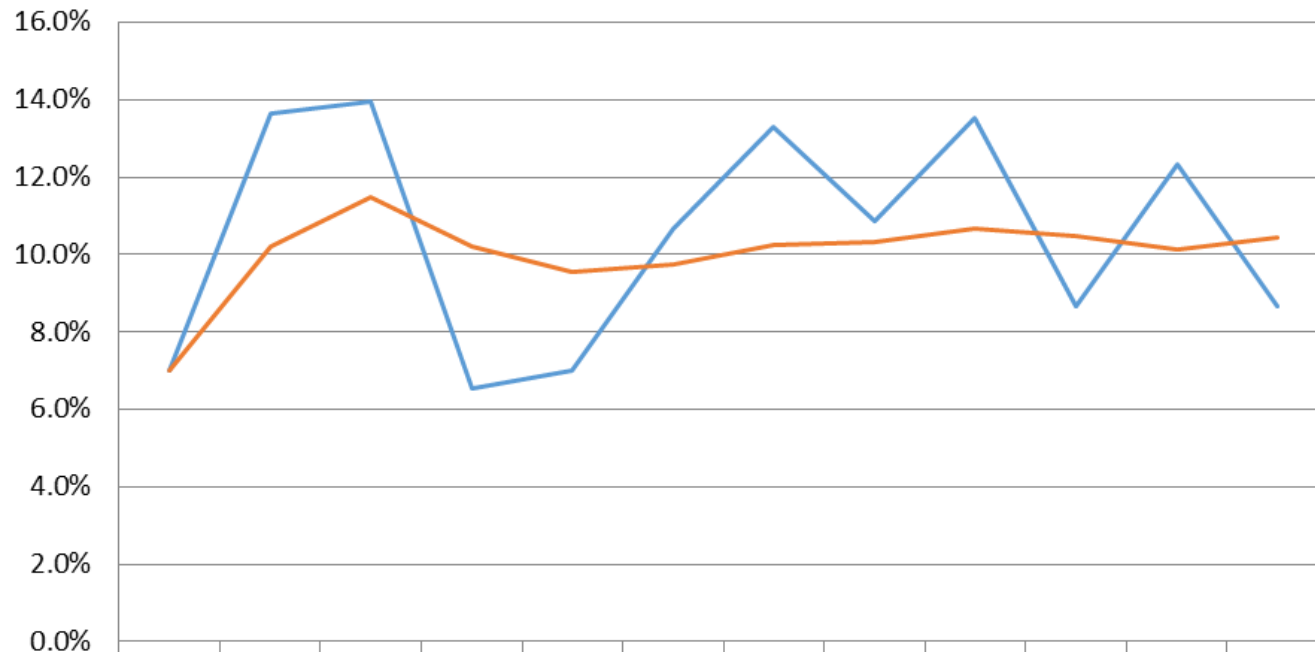
- ◆2016年下期は、ブラジル国内相場はR\$470~600/袋のレンジで右肩上がりに推移。NY先物市場価格動向と乖離が生じているのはレアル安が進んだことに加え、国内需要に対する供給不足によるもの。
- ◆アラビカ種は豊作であったものの、ロブスタ種が大幅減産となり国内需要が逼迫。

## サンパウロ 各パーツ卸売り価格(2012～2016年ドル)



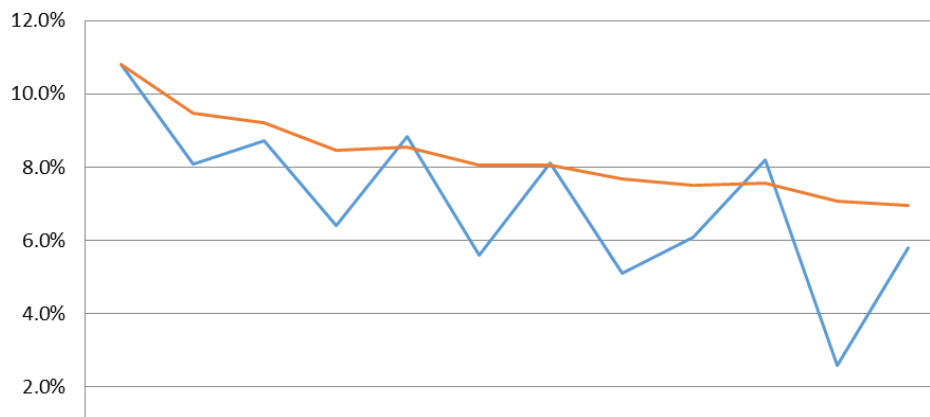
東南アジア(特に中国)向けに輸出の好調なWING(手羽)の価格が高騰を続けており、年末には過去最高に近い価格まで上昇。B-IN LEG(骨付きモモ)は、アジア向けの輸出量が減少した影響を受け、国内での余剰感から、相場下落。BREAST(ムネ肉)は堅調。

## 2016年度 スーパーマーケット売上前年比(名目)



— 単月前年比	7.0%	13.6%	13.9%	6.5%	7.0%	10.7%	13.3%	10.9%	13.5%	8.7%	12.3%	8.7%
— 累計前年比	7.0%	10.2%	11.5%	10.2%	9.6%	9.7%	10.3%	10.3%	10.7%	10.5%	10.2%	10.4%

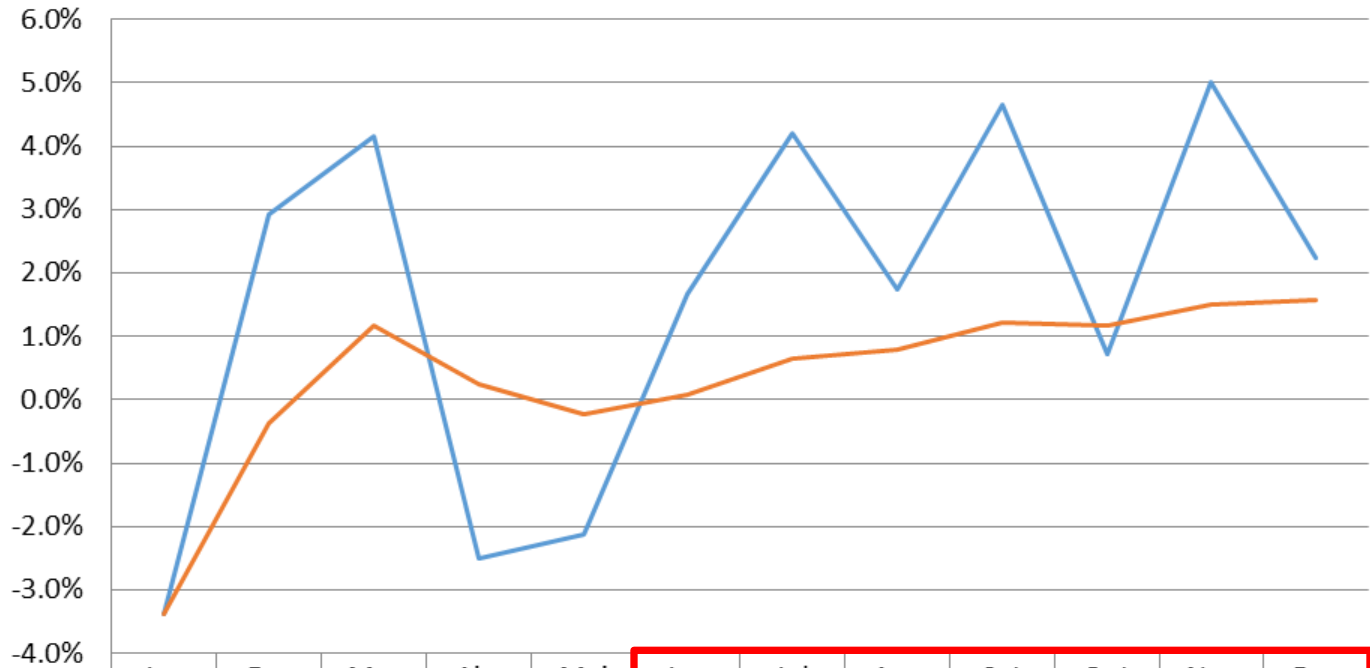
### (参考) 2015年度 スーパーマーケット売上前年比(名目)



Source:  
Economic and research  
department - ABRAS



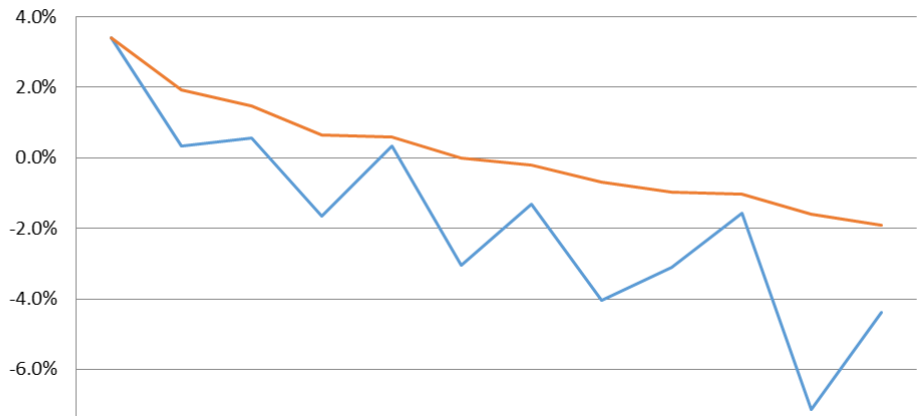
# 2016年度 スーパーマーケット売上前年比(実質)



— 単月前年比  
— 累計前年比

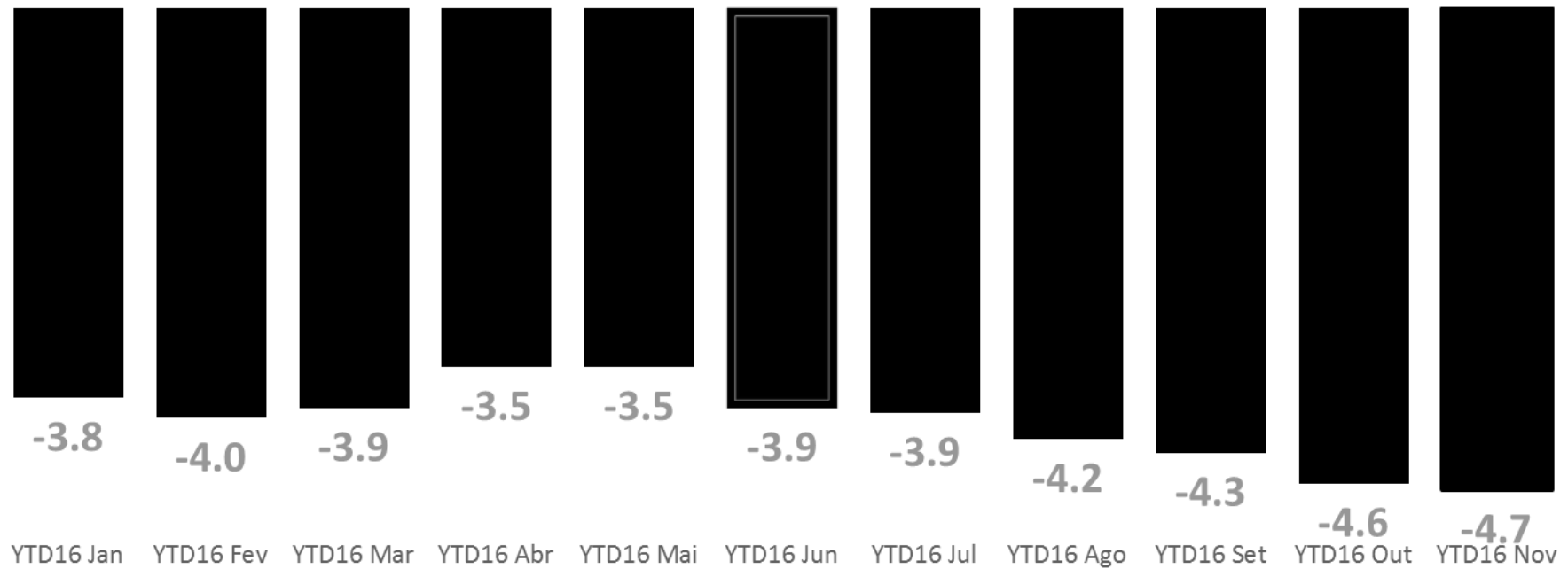
	Jan	Fev	Mar	Abr	Mai	Jun	Jul	Ago	Set	Out	Nov	Dez
単月前年比	-3.4%	2.9%	4.2%	-2.5%	-2.1%	1.7%	4.2%	1.7%	4.7%	0.7%	5.0%	2.2%
累計前年比	-3.4%	-0.4%	1.2%	0.2%	-0.2%	0.1%	0.7%	0.8%	1.2%	1.2%	1.5%	1.6%

## (参考) 2015年度 スーパーマーケット売上前年比(実質)



Source:  
Economic and research  
department - ABRAS

# 食品・飲料・日用雑貨の購入重量前年比は引き続き低位で推移。

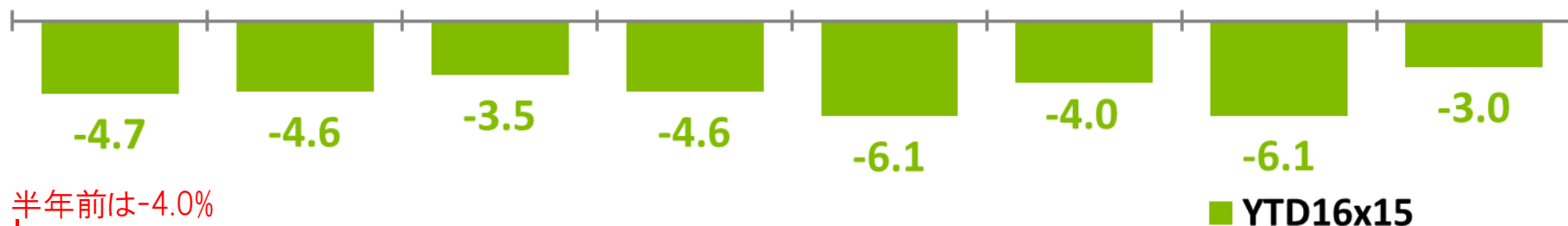


\*データ  
1月-11月  
(2016年vs  
2015年)

Fonte: Nielsen | Retail Index – 123 categorias –  
Total Brasil com expansão Geográfica

# 全地域で昨年より購入重量減少。 半年前と比較し、売上高前年比(実質) は、4エリア(I、II、IV、V)で良化。

- Área I (CE até BA)
- Área II (ES, MG, interior RJ)
- Área III (Grande RJ)
- Área IV (Grande SP)
- Área V (Interior SP + Litoral)
- Área VI (PR, SC e RS)
- Área VII (MS, GO e DF)



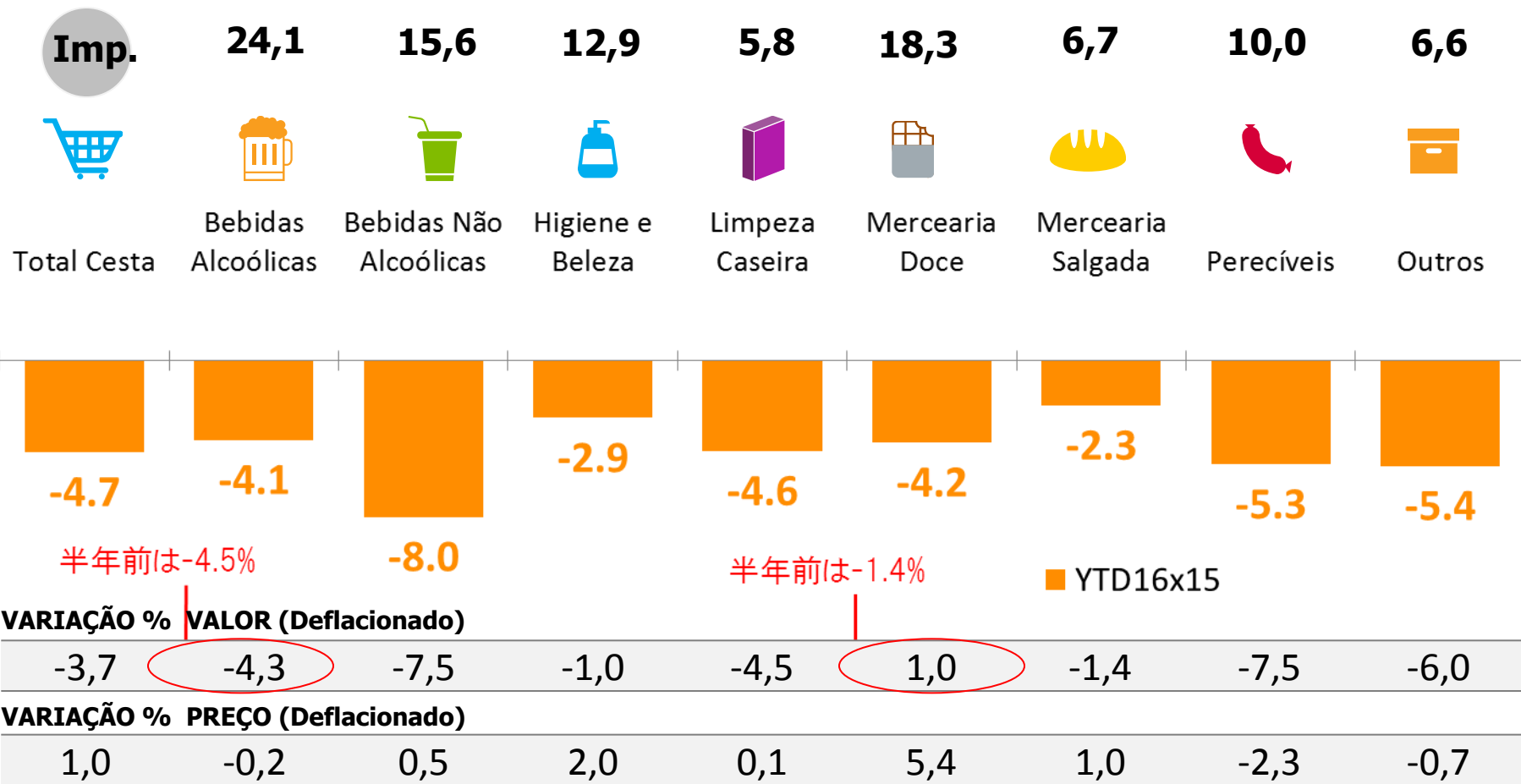
半年前は-4.0%

VARIACÃO % VALOR (Deflacionado)	-3,7	-4,0	-3,0	-3,9	-4,9	-3,2	-4,5	-2,2
VARIACÃO % PREÇO (Deflacionado)	1,0	0,6	0,5	0,7	1,4	0,8	1,7	0,8

Importância das áreas em valor – YTD terminado em SON \*データ 12月-11月 (2016年vs2015年) A: 8.995%

Fonte: Nielsen I Retail Index – 123 categorias– Total Brasil com expansão Geográfica

# 半年前と比較し、ほぼ全てのカテゴリーで購入重量 前年比が低下したが、売上高前年比(実質)は、 アルコール飲料とDoce(砂糖、コーヒー等)が良化。



\*データ 12月-11月 (2016年vs2015年)

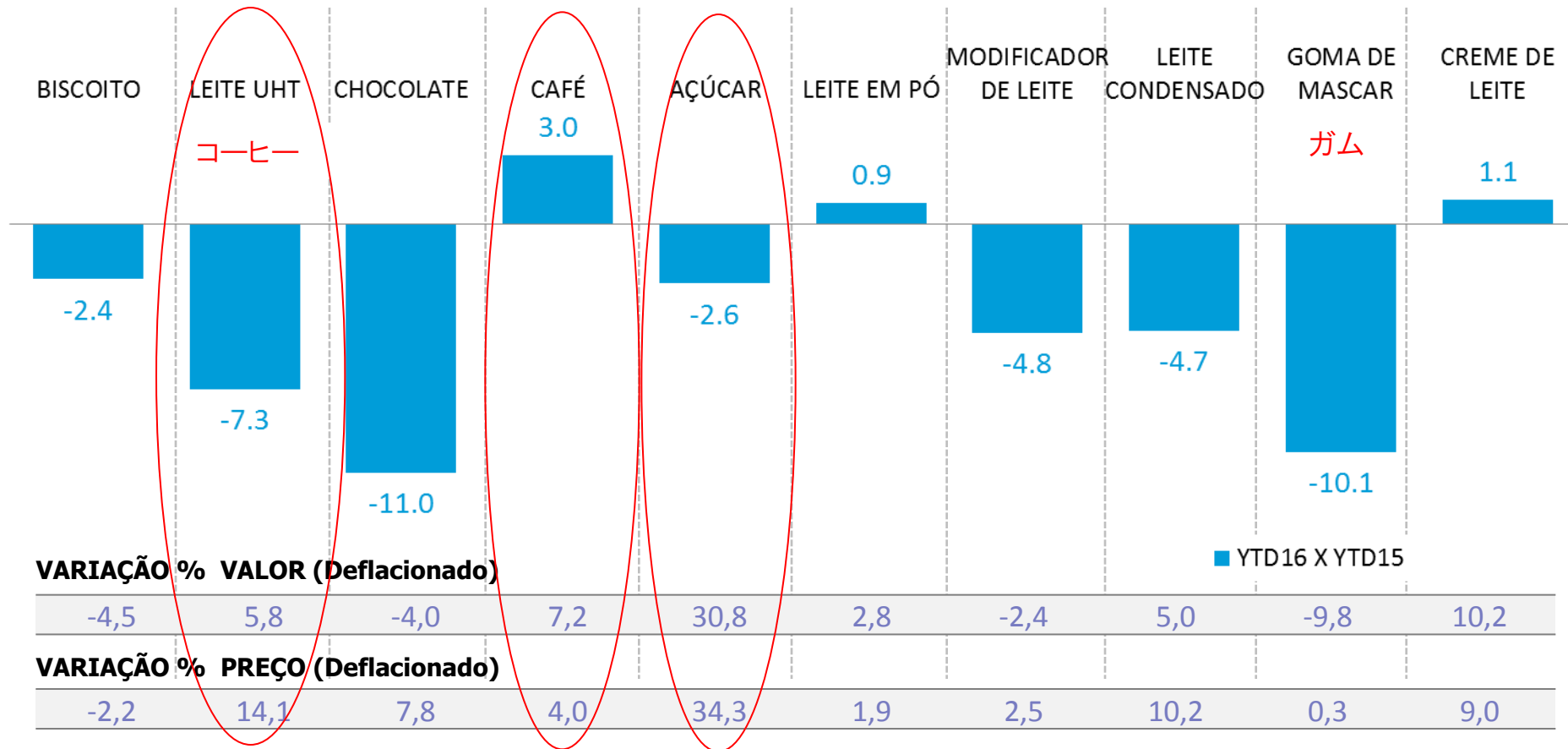
Importância das cestas em valor – YTD terminado em SON

IPCA: 8.995 %

Fonte: Nielsen | Retail Index – 123 categorias– Total Brasil com expansão Geográfica

# <コーヒー・乳・甘味系サブカテゴリー前年比>

増加 ; 砂糖、コーヒー、牛乳  
大きく減少 ; ガム



\*データ 12月-11月 (2016年vs2015年)

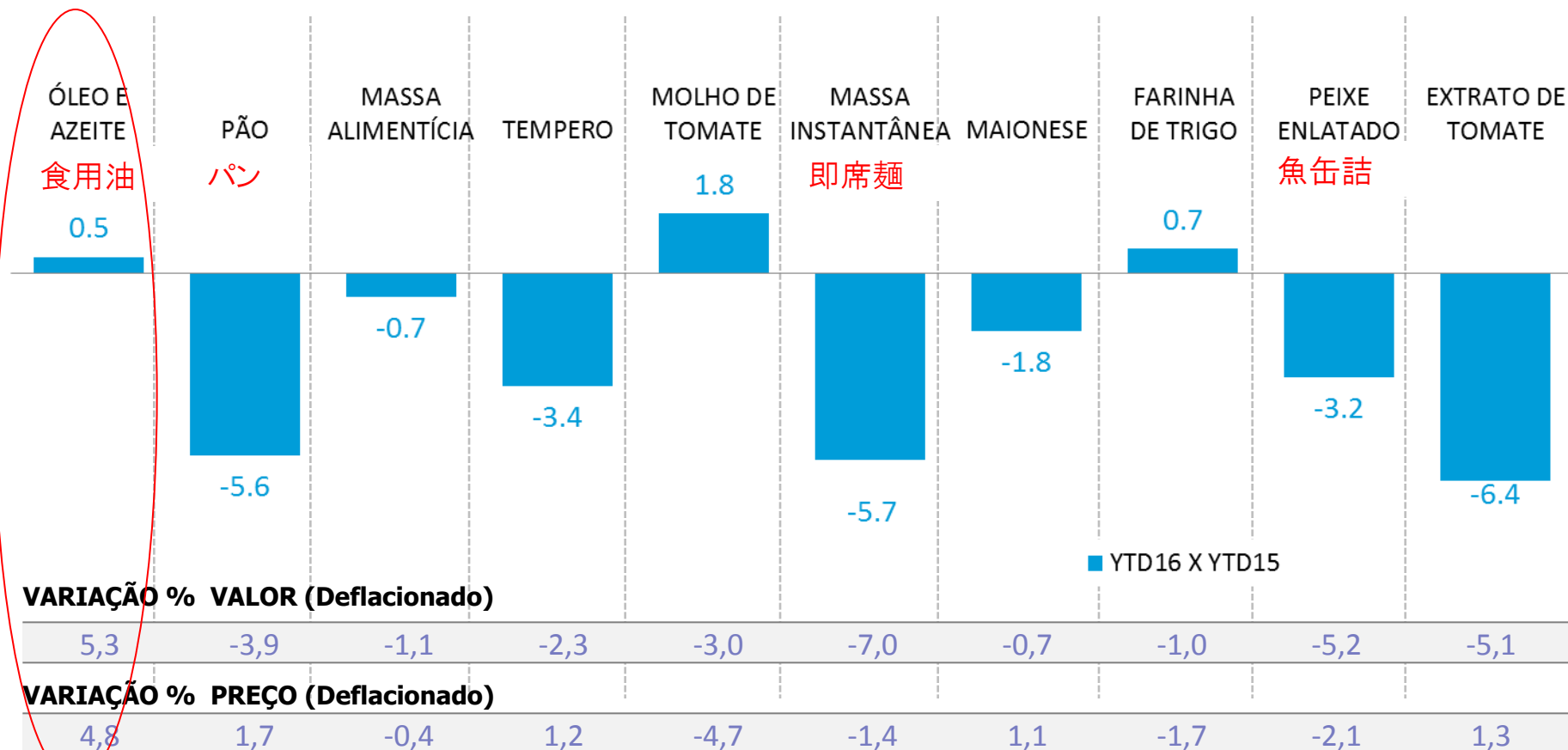
IPCA: 8.995 %

Top 10 Categorias em importância em valor para a cesta – YTD terminado em SON  
 Fonte: Nielsen | Retail Index – 123 categorias– Total Brasil com expansão Geográfica

# <小麦粉・調味料系サブカテゴリー前年比>

増加 ; 食用油

大きく減少; パン、即席麺、魚缶詰



\*データ 12月-11月 (2016年vs2015年)

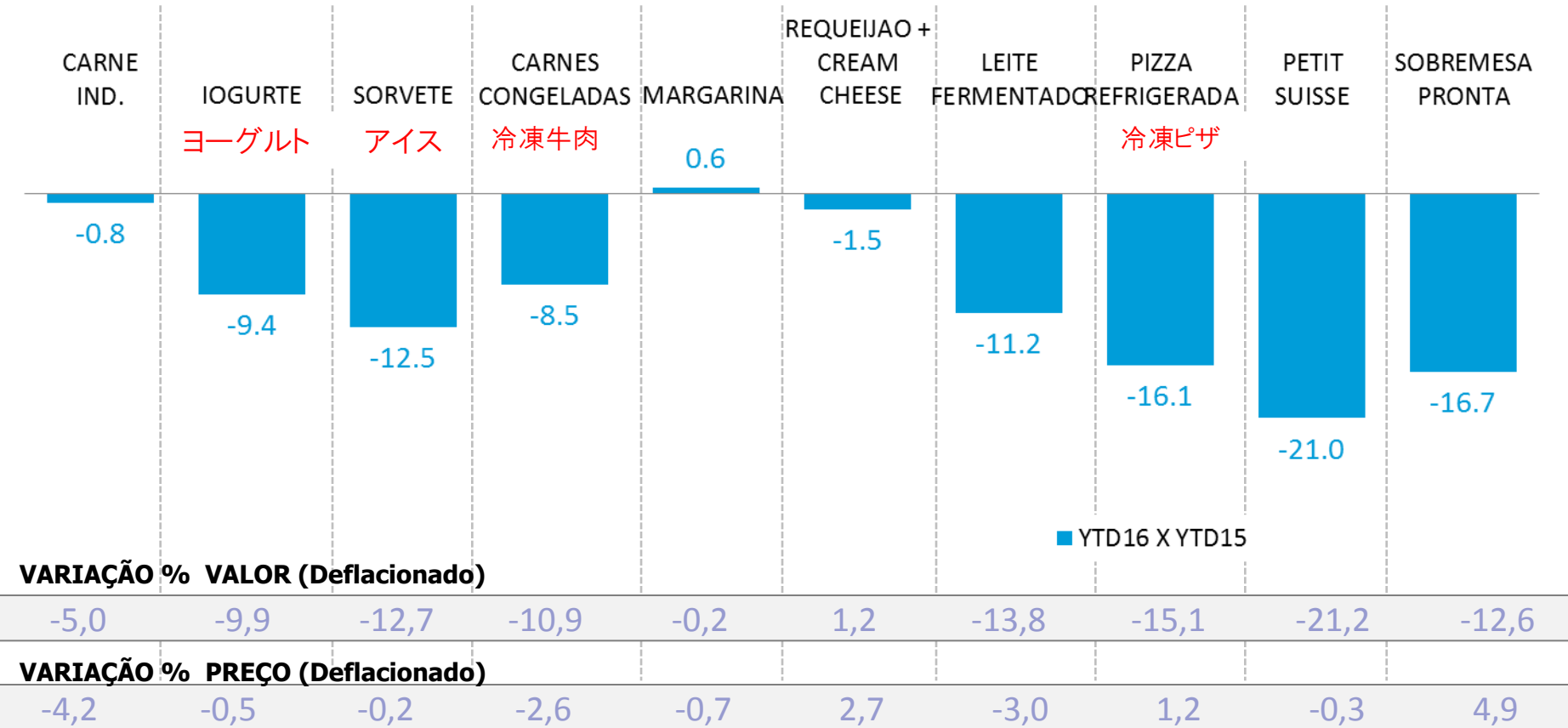
IPCA: 8.995 %

Top 10 Categorias em importância em valor para a cesta – YTD terminado em SON

Fonte: Nielsen | Retail Index – 123 categorias– Total Brasil com expansão Geográfica

# <肉・乳加工品系サブカテゴリー前年比>

大きく減少;ヨーグルト、アイスクリーム、冷凍牛肉、発酵乳飲料、冷凍ピザ、デザート(加工品・冷凍品)



\*データ 12月-11月 (2016年vs2015年)

Top 10 Categorias em importância em valor para a cesta – YTD terminado em SON  
 Fonte: Nielsen | Retail Index – 123 categorias– Total Brasil com expansão Geográfica

IPCA: 8.995 %

# 2017年の展望

『景気回復に向けて、いま為すべきことは？』

- (1) 経済状況に関して楽観的な予想が徐々に増加している。昨年からの政策金利の低下は、設備投資を拡大させ、低迷が続く消費を下支えすると思われる。2017年の実質GDP成長率は3年ぶりにプラス転換し、+0.5%と見込まれている\*。

\* 中央銀行がエコノミスト100名を対象に毎週実施している調査の1月6日現在の予想中央値

⇒消費者の動向や社会的変化を見据えた商品開発や市場開拓。

- (2) 近い将来の景気回復時の波に乗れるよう、事業基盤の強化、新たな事業の種まき等の準備を進める。
- (3) 会員企業の新たなビジネスチャンス発掘につながりうるCAMARA食品部会の取り組みを進めていく。